

小凹湿原の植生回復事業に参加しました

～ 置賜森林管理署 ～

日 時：令和 7 年 8 月 23 日

場 所：吾妻山弥兵衛平、小凹湿原（国有林217、219林班）

東北地方でも有数の名峰の一つである吾妻連峰において、米沢市の市民団体「ネイチャーフロント米沢」様が行っている貴重な山地湿原の保護を目的とした植生回復事業に参加してきました。

吾妻連峰では、以前から登山者の踏み込み等による自然環境の荒廃が問題となっており、失われた植生の回復を図るため、毎年この時期に現地の植物の種を採取し、9月ごろにまた山に登り採取した種子をまく作業を行ってきています。

今年は、当署から14名、ネイチャーフロント米沢様から14名（最年少はなんと6歳！）が参加し、好天の下、弥兵衛平と小凹湿原に分かれて採取できる植物の種類と種子の取り方を教えていただき、丁寧に種子の採取を行い、1時間ほどかけて予定した量を採取することができました。この日採取した種子は、9月13日に小凹湿原の回復予定地に播種する予定です。

置賜森林管理署では、生物多様性と国土強靱化に配慮した持続可能な森林管理を進めており、今後もこうした取組にも積極的に参加しつつ、適正な森林整備の推進に努めてまいります。

置賜森林管理署：経営担当



採取植物について説明を受ける様子



種子の採取をする様子（小凹湿原にて）